

2020年10月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

F A X 023-633-0620

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2020年10月）

【今月の特徴】

○上旬から中旬の少雨 ○寡照

- ・新庄で月間日照時間の少ない方から10月として第3位を更新した。
- ・浜中、櫛引、村山、上山中山で月降水量の少ない方から10月として第1位を更新した。

【概況】

月

前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、日照時間は少なかったが、上旬から中旬にかけて少雨となった。下旬には、西高東低の気圧配置となって寒気が入ったため、庄内で大雨となった日があった。

月平均気温は平年並、庄内と最上では高い所があった。月降水量は少なく、かなり少ない所もあった。月間日照時間はかなり少ない。

上旬

高気圧に覆われて晴れる日もあったが、低気圧や前線の影響により曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は概ね平年並だが、庄内では高い。旬降水量は少なく、かなり少ない所もあった。月間日照時間はかなり少ない。

中旬

気圧の谷や前線、上空の寒気の影響により曇りの日が多く、庄内では雨の日も多かった。期間の半ばと終わりは高気圧に覆われて晴れる日もあった。

旬平均気温は概ね平年並。旬降水量は少なく、村山、置賜、最上ではかなり少なかった。旬間日照時間は少ないから平年並。

下旬

天気は数日周期で変化した。24日は、西高東低の気圧配置となって寒気が流入した影響により、庄内では大雨となった。

旬平均気温は平年並、庄内では高い所があった。旬降水量は平年並から多い。旬間日照時間は平年並から少なく、置賜では多い所があった。

2 日々の気圧配置（2020年10月）

- 1日：低気圧が秋田沖にあって北東へ進む。
- 2日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 3日：低気圧が沿海州付近にあって北東へ進み、前線が日本海にのびる。
- 4日：低気圧がサハリン付近にあって北北東へ進み、前線が北日本を通過して日本海にのびる。
- 5日：低気圧が日本海北部にあって北東へ進み、寒冷前線が東北地方を通過する。
- 6日：大陸に中心を持つ高気圧が本州付近に張り出す。
- 7日：東北地方は緩やかに高気圧に覆われる。
- 8日：前線が日本の南から伊豆諸島付近を通過して日本の東にのびる。一方、高気圧が日本海にあってゆっくり東に移動する。
- 9日：高気圧が日本海北部にあって北日本を覆う。一方、台風第14号が四国の南を北北東へ進む。
- 10日：台風第14号が四国の南にあって東北東へ進む。また、東北地方は気圧の谷となる。
- 11日：前線が関東の東に停滞する。また、東北地方は気圧の谷となる。
- 12日：気圧の谷が東北地方を通過する。
- 13日：気圧の谷が北日本を通過する。一方、大陸の高気圧が本州付近に張り出す。
- 14日：大陸の高気圧が本州付近に張り出す。一方、寒冷前線が東北地方を通過する。
- 15日：大陸の高気圧が本州付近に張り出す。
- 16日：東北地方は日本海に中心を持つ高気圧に覆われる。
- 17日：気圧の谷が北日本を通過する。一方、本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 18日：本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。
- 19日：気圧の谷が北日本を通過する。一方、黄海付近に中心を持つ高気圧が本州付近に張り出す。
- 20日：本州付近は日本海に中心を持つ高気圧に覆われる。
- 21日：日本付近は高気圧に覆われる。
- 22日：低気圧が対馬近海にあって北東へ進む。
- 23日：低気圧が日本海にあって北北東へ進み、前線が東北地方を通過する。
- 24日：発達した低気圧が間宮海峡付近に停滞し、日本付近は西高東低の気圧配置となる。
- 25日：北日本は西高東低の気圧配置となる。
- 26日：黄海に中心を持つ高気圧が次第に日本付近を覆う。
- 27日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 28日：北日本は高気圧に覆われる。一方、低気圧が日本海にあって北東へ進む。
- 29日：寒冷前線が北日本を通過し、西高東低の気圧配置となる。
- 30日：大陸の高気圧が本州付近に張り出す。一方、北日本は気圧の谷となる。
- 31日：日本付近は高気圧に覆われる。

3 気候統計値（2020年10月）

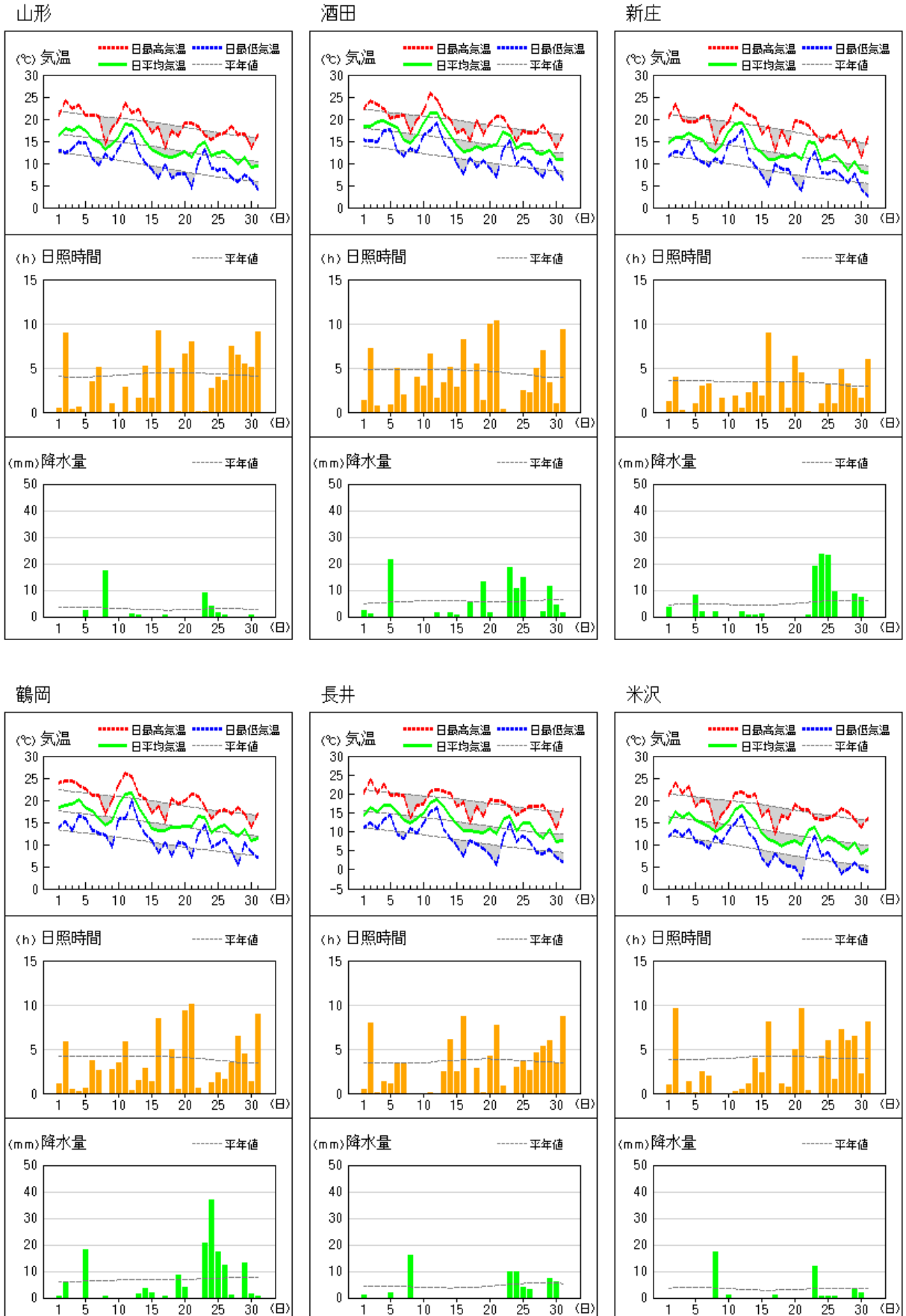
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	16.2	+0.4	平年並	20.0	54	平年並	19.8	49	かなり少ない
	中旬	14.3	+0.4	平年並	2.0	9	少ない	32.1	73	少ない
	下旬	11.6	+0.3	平年並	15.5	48	少ない	51.9	109	平年並
	月	14.0	+0.4	平年並	37.5	41	少ない	103.8	79	かなり少ない
酒田	上旬	17.8	+0.6	高い	25.0	43	少ない	23.7	48	かなり少ない
	中旬	15.8	+0.4	平年並	23.5	40	少ない	44.2	95	平年並
	下旬	13.6	+0.5	平年並	63.5	100	平年並	40.7	87	少ない
	月	15.7	+0.6	平年並	112.0	62	かなり少ない	108.6	77	少ない
新庄	上旬	15.2	+0.2	平年並	15.5	31	少ない	14.0	39	かなり少ない
	中旬	13.8	+0.9	高い	4.0	10	かなり少ない	28.9	83	平年並
	下旬	10.8	+0.4	平年並	91.5	142	多い	27.9	79	少ない
	月	13.2	+0.5	高い	111.0	71	少ない	70.8	67	かなり少ない
米沢	上旬	15.3	-0.1	平年並	18.5	44	少ない	16.6	43	かなり少ない
	中旬	13.5	0.0	平年並	1.0	4	かなり少ない	22.8	54	かなり少ない
	下旬	10.6	-0.1	平年並	18.5	49	平年並	51.5	116	多い
	月	13.0	-0.1	平年並	38.0	36	かなり少ない	90.9	73	かなり少ない

注】次の表示の場合 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし。

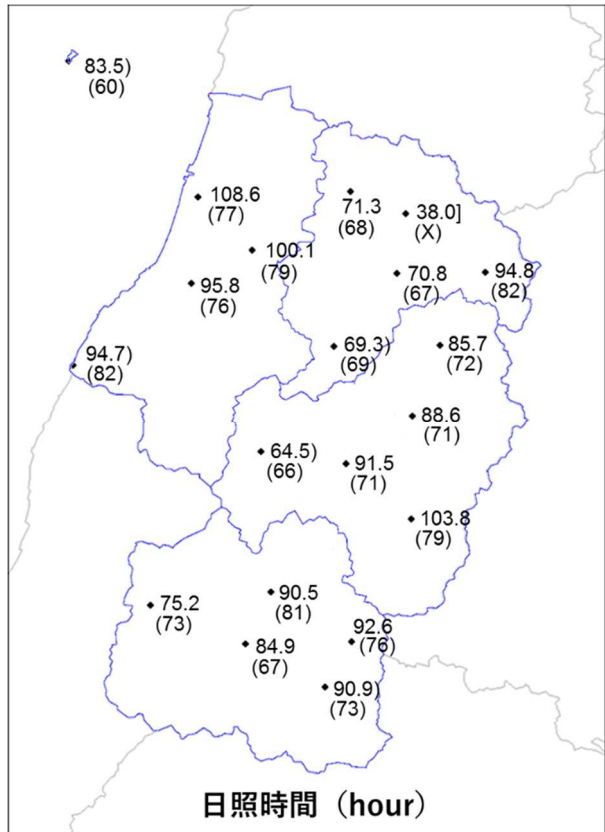
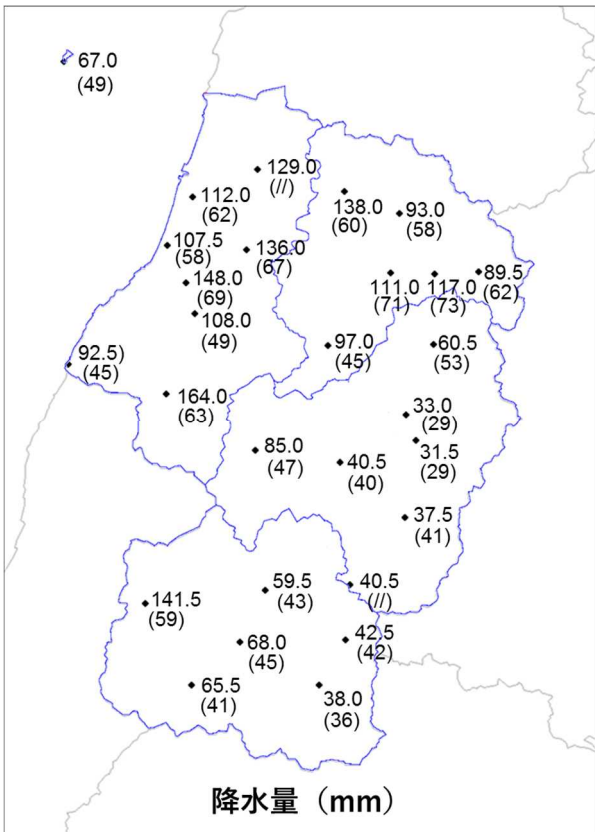
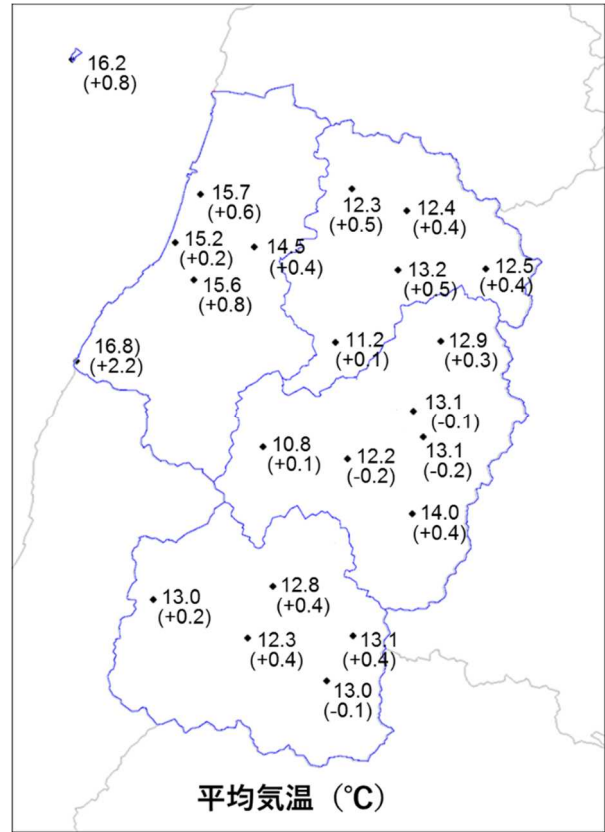
平年値は1981～2010年の平均値。

4 気象経過図（2020年10月）

アメダス 気象経過図：2020年10月01日-2020年10月31日



5 気象分布図（2020年10月）



注】) は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%）、日照時間の()内は平年比(%)を示す。
平年値は1981～2010年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2020年10月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄)10月として第1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最小相対湿度 (mm)	新庄	29	3	10月20日	1957年
月間日照時間の少ない方 から (h)	新庄	70.8	3	-	1957年

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):10月として第1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月降水量の少ない方から (mm)	浜中	107.5	1	-	2003年
月降水量の少ない方から (mm)	櫛引	108.0	1	-	1977年
月降水量の少ない方から (mm)	村山	33.0	1	-	2002年
月降水量の少ない方から (mm)	上山中山	40.5	1	-	2006年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

・生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちろう」が紅(黄)葉した日などの植物季節観測や、「うぐいす」・「あぶらぜみ」の鳴き声を初めて聞いた日、「つばめ」・「ほたる」を初めて見た日などの動物季節観測を行っています。

【生物季節観測】(2020年10月)

種目	現象	2020年	平年	平年との差	2019年	昨年との差	観測した場所
さざんか	開花	10月5日	10月20日	15日早い	10月2日	3日遅い	気象台構内

2020年の生物季節観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。

https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu_thisyear.html#seibutu

・季節現象観測

気象庁では、雪・霜・結氷・冠雪の観測を行っています。これを季節現象観測といい、前の年の8月から該当する年の7月までの時期を「寒候年」として、観測および統計を行っています。

寒候年で初めて現象を観測した日を「初冠雪」「初霜」などとして発表しています。

【初冠雪】(2020年10月)

対象の山	2021寒候年	平年	平年との差	2020寒候年	昨年との差
月山	10月25日	10月18日	7日遅い	11月5日	11日早い
朝日岳(大朝日岳)	10月25日	10月22日	3日遅い	11月5日	11日早い

※初冠雪とは、観測対象の山で気象台から初めて山頂付近で積雪している様子を観測した日

2021寒候年の季節現象観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。

https://www.jma-net.go.jp/yamagata/seibutu/seibutu_thisyear.html#kankouki